

オープン教室会のご案内

口腔治療・歯周科 症例検討会

日時 : 12月18日 17時30分～18時30分

場所 : F棟 5階 弓倉記念ホール

主催 : 口腔治療学教室

演者 : 野崎剛徳

内容 : 侵襲性歯周炎への対応

要旨 : 侵襲性歯周炎は急速な歯周組織破壊の進行を特徴とする疾患で、
10～30歳代で発症することが多い。

今回の症例検討会では、この侵襲性歯周炎の特徴について詳説するとともに、症例提示を行い、その対応法を検討したい。また、歯周外科手術対応が必要とされる際の、基本的手技等についても検討したい。

問い合わせ先: (口腔治療学教室・内線2932)

Open教室会のご案内

外傷歯の診断と治療 「しなければならないこと」「してはいけないこと」
月星太介先生

日時：2015年1月21日水曜日17時00分～18時30分

場所：D棟3階 示説室

主催：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野

内容：外傷の患者さんは突然訪れる。そのとき最初に診るドクターが正しい知識を身につけていないと、過不足のある治療を行ってしまい、その歯の将来を左右しかねない。最近では歯科医師の意識も変わり外傷に対する正しい知識も浸透しつつあるが、まだ充分とは言えない現状である。

今回の講義を通じ、外傷歯の正しい治療を行うための、診断力を身につけて頂ければ幸いである。

問い合わせ先：（有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野・内線2954）

Open教室会のご案内

総義歯の形について ―下顎総義歯を中心に― ／川畑 直嗣

日時：2015年2月18日水曜日 17時～18時30分

場所：D棟3階 示説室

主催：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野

内容：総義歯、特に下顎総義歯の形について、1960年代のころからの成書に掲載されたものとその特徴、また、それらに影響されてこれまで臨床でおこなってきた方法と、その結果 どのような形になったか、どれくらいの吸着がえられたか について話してみたい。

問い合わせ先：（有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野・内線2954）

”活力ある生活”を担保する体内時計機構

講師：中村 渉 准教授

大阪大学大学院歯学研究科 口腔科学フロンティアセンター 時間生物学研究室

日時：平成 27 年 3 月 17 日（火） 午後 5 時から 6 時

場所：F棟4階 大学院セミナー室

生体の生理機能は外部環境の変化に対応して恒常性の維持に努めます。この動的な恒常性維持機構に重要な役割を果たすのが視床下部に存在する視交叉上核領域であり、生体に時刻を知らせるいわゆる体内時計中枢として機能しています。近年、社会的な時計の時刻と、生理的な体内時計の時刻とが乖離することで心身の健康に重篤な障害をもたらすのではないかとということが提唱されています。本セミナーでは、とくに乱れがちな生活リズムについて、最新の知見を交え神経科学的視点から解説します。

問い合わせ先：障害者歯科治療部（2280，2283）

Open 教室会のご案内

有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野教室会

日時：平成 26 年 6 月 24 日（水）17：00～18：30

場所：D 棟 3 階 示説室

主催：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野教室

内容：当教室では、毎週水曜日に医局会を開催しており、補綴処置に関する文献抄読会を行っております。また定期的に当教室招聘教員による症例検討や講演を企画しております。上記日程の教室会では、十河基文招聘教員による「歯科治療における光殺菌の有効性」についての講演を予定しております。ご興味のある先生方のご参加をお待ちしております。

菌未来殺菌『光殺菌治療』のお話



そごう
十河基文

早期がんの治療法として「光線力学療」という治療法があります。同じメカニズムで細菌を対象とした治療法が「光殺菌治療」です。2000 年頃からヨーロッパを中心に臨床応用され、抗生物質を使わない効果的な感染療法として海外では 10 年以上行われているようです。しかし日本ではまだ薬事法で承認されていない「近未来治療」となります。

今回はまだまだ日本では知られてはいない「光殺菌治療」について、基本のお話をしたいと思います。補綴出身の人間が「CT」に引き続き、今度はインプラント周囲炎を発端にまたまた専門外である「感染症」に My ブームを起こしています！



感染根管



歯周病



インプラント周囲炎

問い合わせ先：（有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 2954）

O p e n 教室会のご案内

「カリオロジーに基づく齲蝕の管理」

日時：平成 27 年 9 月 3 日(木) 18:00~19:00

場所：D 棟 3 階 示説室

主催：歯科保存学教室

演者：伊藤 中先生（大阪大学歯学研究科臨床准教授）

要旨：齲蝕病変発生メカニズムが明らかとなった現代においては、
「齲蝕の治療」と「齲窩の修復」とは同義語ではない。齲窩とは疾患の結果に過ぎず、形態のみを修復材料で回復しても疾患は治癒しない。今回のセミナーでは、日常臨床においてどのように「齲蝕という疾患」に対処していくのかを考えてみたい。

問い合わせ先：歯科保存学教室（内線 2927）

Open教室会のご案内

日時：平成27年9月17日（木） 17:00～18:00

10月22日（木） 17:00～18:00

11月19日（木） 17:00～18:00

場所：歯学研究科 D棟3階 示説室

講師：木ノ本 喜史 先生（吹田市開業・大阪大学大学院歯学研究科臨床教授）

演題：「臨床根管解剖 1」，「臨床根管解剖 2」，「臨床根管解剖 3」

要旨：歯の解剖は歯科医師なら誰でも、学生時代に学ぶ科目ですが、対象を歯内療法に絞って解説した解剖に関するまとめは案外見かけません。歯学部学生の歯内療法の講義においても、根管解剖についての説明はほとんど行われなため、根管に対しては漠然としたイメージを持っているだけの方が多いのではないかと思います。歯内療法においては根管の拡大・形成や充填などに注目が集まりますが、多様な形態を示す根管のバリエーションを知らずに確実な歯内療法を行うことは不可能です。また、根管以外にも拡大・形成が必要な部位が歯の中には存在します。根管系のイメージを確かなものにできると、直接目で見えない部位を治療対象とする歯内療法への自信が生まれます。

そこで、セミナーでは3回にわたり、臨床根管解剖について解説致します。



問い合わせ先：（歯科保存学教室・内線2927）

「口の難病」Open教室会のご案内

- ◆ 日時： 2015年12月9日（水） 17：00～18：30
- ◆ 場所： D棟4階 大講義室
- ◆ 講師： 倉嶋 敏明 先生
- ◆ 演題： 天然歯・義歯・インプラントの共存～欠損形態の改変と補綴的補完医療～

- ◆ 要旨： 従来は固定性補綴を前提として議論されることが多かったインプラント治療だが、近年一つの治療の方向性として、中等度から多数歯欠損症例に対するインプラントを併用したパーシャルデンチャー (Implant Assisted Removable Partial Denture以下IARPD)に視線が向けられ始めている。

現在日本における高齢化は著しく、未だ中等度から多数歯欠損症例に対する義歯治療の比率は高い。しかし日常臨床では義歯で補綴治療を行ったとしても対合関係によってはさらなる崩壊への転落を抑制できない場合もあり、可撤性補綴の限界を痛感する場合も少なくない。進行して行く崩壊に歯止めをかけるため、義歯とインプラントの利点が互いに支え合う利用法も一考の価値がある。

インプラントと義歯の併用について、無歯顎への応用（いわゆるインプラントオーバーデンチャー以下IOD）は2002年McGillコンセンサスミーティングでの提言後臨床報告が散見される一方、天然歯・義歯・インプラントが共存するIARPDについては後発的な手法のため未だ認知度は高いとは言えない。しかし臨床現場では難症例への欠損形態改変のため、実際のところIARPDは徐々に積み重ねられているのである。

天然歯・義歯・インプラントの共存での欠損歯列改変を補綴的補完医療と捉え、皆様とこれからのインプラント治療／補綴治療の幅を考えていきたい。

（問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 内線：2954）

※大学院特別講義も兼ねます

Open 教室会のご案内

「小児歯科症例検討会」

日時：平成 28 年 1 月 20 日（水） 19:00～20:00

1 月 27 日（水） 19:00～20:00

場所：D 棟 4 階 第 3 講義室

主催：小児歯科学教室

内容：歯科を受診する小児患者の多くが成長期にあり、永久歯が完成するまでに著しい変化を辿っています。そのため、小児患者では、大人の患者とは違う診査と治療計画のアプローチが必要となることも多いのではないかと思います。そこで今回、小児歯科で定期的に行っている症例検討会を Open 教室会として企画いたしました。ご興味のある先生方のたくさんのご参加をお待ちしております。

※1 日につき 3 症例検討する予定です。

問い合わせ先：（小児歯科学教室・内線 2962）

Open教室会のご案内

生化学教室Journal Club

日時:平成29年6月12日 月曜日 午後1時～午後3時

場所:F棟2階小会議室

主催:生化学教室

内容:生化学に関する最新の論文を紹介し、ディスカッションを行います

問い合わせ先:(生化学教室・内線電話番号2887)

Open 教室会のご案内

「小児歯科症例検討会」

日時：平成 30 年 2 月 7 日（水） 19:00～20:00

2 月 14 日（水） 19:00～20:00

場所：D 棟 4 階 第 3 講義室

主催：小児歯科学教室

内容：歯科を受診する小児患者の多くが成長期にあり、永久歯が完成するまでに著しい変化を辿っています。そのため、小児患者では、大人の患者とは違う診査と治療計画のアプローチが必要となることも多いのではないかと思います。そこで今回、小児歯科で定期的に行っている症例検討会を Open 教室会として企画いたしました。ご興味のある先生方のたくさんのご参加をお待ちしております。

※1 日につき 3 症例検討する予定です。

問い合わせ先：（小児歯科学教室・内線 2962）

O p e n 教室会のご案内

「行動科学に基づいた患者対応とスタッフ育成」

西尾拓郎先生（口腔総合診療部 臨床准教授）

日時： 2018年6月14日（木）

場所： E棟2階セミナー室

主催： 口腔総合診療部

内容： 近年、医療の現場においては医療技術だけではなく患者対応も重要視されるようになってきました。しかし、患者対応についてのスタッフ育成法はあまりありません。本教室会ではこれまでのスタッフ育成における問題点と、現在取り組んでいる行動科学マネジメントをもとにした患者対応やスタッフ育成とその効果を実践例とともにお話しいたします。

問い合わせ先：（口腔総合診療部・2386）

O p e n 教室会のご案内

「マイクロスコープを使った歯内治療 —とくに歯根破折への対応—」

竹重文雄先生（大阪大学名誉教授・招聘教授）

日時： 2018年6月28日（木）17：30～

場所： E棟2階セミナー室

主催： 口腔総合診療部

内容： 歯根破折は 8020 運動後の歯科で、歯の喪失の主要な原因のひとつとなっており、これからの歯科治療で避けることのできない症例です。今回、マイクロスコープを使った歯内治療の臨床例を紹介し、歯根破折への対応を中心に、破折片除去や歯内治療で難症例にしないための工夫についても触れたいと思います。

問い合わせ先：（口腔総合診療部・2386）

Open教室会のご案内

「サホライド歯科用38%の基礎と臨床応用」

日時： 平成31年2月5日(火) 17:00~18:00

場所： F棟5階 弓倉記念ホール

主催： 歯科保存学教室

演者： 株式会社 ビーブランド・メディコーデンタル

研究開発部 重村 侑哉氏

内容： う蝕マネジメントが重要視される中、本学で山賀禮一先生によって開発された38%フッ化ジアンミン銀(サホライド®)は、小児を中心に臨床の場で広く用いられてきました。世界的には2016年にFDIが認可して以来、北米でも「ドリルなしの治療」として注目され、急速に普及し始めています。一方、高齢者の根面う蝕のマネジメントのために、その有用性が認知され始めており、世界各国での臨床研究にて効果が実証されています。今回は、(株)ビーブランド・メディコーデンタル 研究開発部の重村侑哉氏より、38%フッ化ジアンミン銀の開発の背景から今後の展開を、包括的に講話いただく予定です。

問い合わせ先：(歯科保存学教室・内線2927)

Open 教室会のご案内

「小児歯科症例検討会」

日時：平成 31 年 2 月 6 日（水） 19:00～20:00

2 月 13 日（水） 19:00～20:00

場所：D 棟 4 階 第 3 講義室

主催：小児歯科学教室

内容：歯科を受診する小児患者の多くが成長期にあり、永久歯が完成するまでに著しい変化を辿っています。そのため、小児患者では、大人の患者とは違う診査と治療計画のアプローチが必要となることも多いのではないかと思います。そこで今回、小児歯科で定期的に行っている症例検討会を Open 教室会として企画いたしました。ご興味のある先生方のたくさんのご参加をお待ちしております。

※1 日につき 3 症例検討する予定です。

問い合わせ先：（小児歯科学教室・内線 2962）

Open教室会のご案内

顎変形症合同検討会

日時: 2019年 4月 25日 18:00～

場所: 矯正科医局(2F)

主催: 顎顔面口腔矯正学教室・口腔外科学第一教室・
口腔外科学第二教室

内容: 顎変形症患者の治療プランに対しての3科合同症
例検討会

問い合わせ先: (顎顔面口腔矯正学教室・2958)

Open教室会のご案内

顎変形症合同検討会

日時: 2019年 5月 16日 18:00～

場所: 矯正科医局(2F)

主催: 顎顔面口腔矯正学教室・口腔外科学第一教室・
口腔外科学第二教室

内容: 顎変形症患者の治療プランに対しての3科合同症
例検討会

問い合わせ先: (顎顔面口腔矯正学教室・2958)

Open教室会のご案内

顎変形症合同検討会

日時: 2019年 5月 30日 18:00～

場所: 矯正科医局(2F)

主催: 顎顔面口腔矯正学教室・口腔外科学第一教室・
口腔外科学第二教室

内容: 顎変形症患者の治療プランに対しての3科合同症
例検討会

問い合わせ先: (顎顔面口腔矯正学教室・2958)